

新型コロナウイルス影響下でのボランティア活動について
活動先（施設・団体）に配慮していただきたいこと

2020年7月〇日 東京ボランティア・市民活動センター

新型コロナウイルス感染拡大は、ボランティア活動する人とまわりの人、活動する先などにも影響を及ぼすおそれがあります。ボランティア活動は自発的な意志から行われるものであり、社会が大変な状況の中で支え合うことの必要性に寄り添う活動が多数ありますが、活動する人が安全で安心して参加できるようにし、活動先にとっても安全に受入れることができるよう備えるため、普段の留意点に加え下記のことについて配慮しましょう。

1) 活動前に安全に関する事項をボランティアと確認しましょう

ボランティアが活動先に出かけたり、対面となるボランティア活動については、感染リスクはないとは言えません。受入れ側で感染予防対策をとり、予め示せるようにした上でボランティアの健康状態もきいてお互いに活動が可能かどうかを確認しましょう。ボランティアとの間で重要な事項を確認する際には「合意書」を作成することをおすすめします。合意書を作成しても問題が完全に無くなるわけではありませんが、大切な事項は書面で確認して、もしも感染等の事故が起こった場合の責任の所在をめぐる問題をなるべく減らすようにしましょう。

2) 活動先に出かけなくてもつながりができる活動も検討しましょう

このような状況下で活動先の人たちとボランティアがつながりをもちながらできるだけ感染リスクを避けて活動するために、オンラインや在宅など遠隔でできるボランティア活動もぜひ検討してみましょう。

例) ○オンラインでの交流、募金活動、通訳・翻訳、学習支援、講座・教室など

○在宅でプレゼントを作って寄贈、手紙や電話での交流など

3) 活動する場合は、感染予防を万全にしましょう

活動先やボランティアを感染から守るために、マスクの着用、手洗い、消毒、換気、ソーシャル・ディスタンスなどの予防を徹底しましょう。感染予防策をとることが難しい活動やイベントは控えるか時期をあらためることを検討しましょう。

もし、ボランティア活動中にボランティアに感染が起きた場合に備えて、ボランティアにはボランティア保険に必ず入るように伝えます（→※）。なお、会社の研修・業務、学校の授業による参加の場合はボランティア保険の対象となりませんので、それに代わり新型コロナウイルスに対応する保険に加入してもらうように伝えます。また、活動先の利用者（支援対象者）や職員に感染が起きた場合に対応する保険に団体としても加入しておきましょう。

4) ボランティアの体調が悪い場合は参加を控えるように伝えましょう

ボランティアで体調に少しでも違和感や不安を感じたり、自分の周りに感染者がいる場合などで自分の感染リスクに心配のある人がいた場合は、活動前に活動先へ連絡してもらい、ボランティア活動を控えるように伝えます。ボランティアの中には感染していても無症状であったり、発熱の2日前から感染力をもっていることがあります。抗体検査等で陰性であったり、抗体があることがわかっても、陽性になるリスクはありますので同じように注意することが必要です。休みや体調不良の際の連絡について、予めルールを決め、活動者に伝えておきましょう。

5) 感染が発生した場合に連絡が取れるよう準備しましょう

ボランティア活動の前後に活動先で感染者が発生した場合にボランティアに連絡ができるように、連絡先を把握しておきましょう。また、ボランティア活動後にボランティアの感染が分かった場合も、活動先に必ず連絡を入れてもらうように伝えておきましょう。いずれの場合も、受診や検査について相談できる先（保健所、帰国者・接触者電話相談センター）を予め調べておきましょう

「after(アフター)コロナ」を待ち望むだけではなく「with(ウィズ)コロナ」で取り組んでいかなければならない状況が今後も続いていくと考えられます。東京ボランティア・市民活動センターでも、そのような状況が続くなかで、今何をしなければならないのか、工夫と創意の連続をしながら、希望をもってあきらめずに、できること・必要なことをみなさんと一緒に考えていければと思います。

※：ボランティア保険の対象となるボランティア活動の範囲や、保険金の請求時の手続き等の詳細については、東京福祉企画のボランティア保険のウェブサイト (<http://www.tokyo-fk.com/>) やボランティア保険のパンフレット等をご覧下さい。

【新型コロナ受診相談窓口（帰国者・接触者電話相談センター）】

平日：日中（概ね9時～17時） 最寄りの保健所の相談センター

平日：17時～翌9時・土日祝日：終日 東京都内全域 03-5320-4592

(<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/kansen/coronasodan.html>)